

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成22年12月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面・・・個人消費は、低調ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。**
 大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(9月)
 用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、公共工事請負金額は前年を下回った。(10月)
- **産業面・・・鉱工業生産は、足踏み状態。**
 鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月から横ばいとなり、原指数は前年を上回った。(9月)
- **雇用面・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。**
 きまって支給する給与は前年を下回ったが、所定外労働時間は前年を上回った。(9月)
 求人倍率は、有効、新規ともに前月を上回った。新規求人数も前年を上回った。(10月)

○需要面の動き

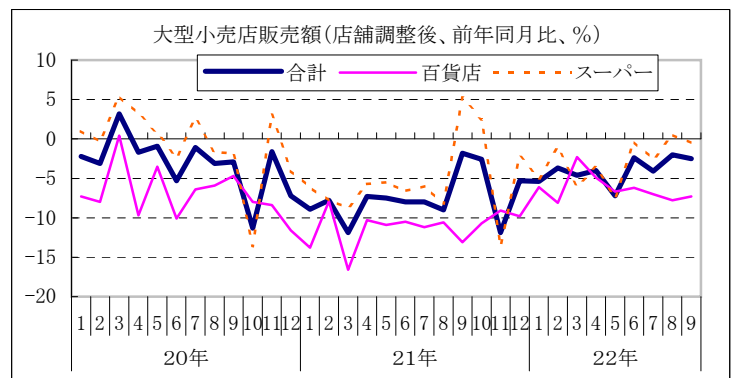
大型小売店販売額(9月)

全店舗の販売額は、48億7,900万円(前年同月比3.5%減)と3か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも30か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	487,900	▲3.5	(▲2.5)
百貨店	140,500	▲7.3	(▲7.3)
スーパー	347,500	▲1.8	(▲0.5)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(9月)

32億100万円(前年同月比1.5%増)と13か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(10月)

1,338台(前年同月比28.7%減)と2か月続いて前年を下回った。普通車、小型車及び軽自動車の全ての区分で前年を下回った。

新設住宅着工戸数(10月)

191戸(前年同月比24.8%減)と4か月ぶりに前年を下回った。持家系(前年同月比4.1%減)、貸家系(前年同月比44.3%減)ともに前年を下回った。

用途別着工建築物工事金額(10月)

17億3,700万円(前年同月比390.8%増)と前年を上回った。用途別では、医療・福祉(前年同月比589.0%増)等で前年を上回り、卸売業・小売業(前年同月比77.3%減)等で前年を下回った。

公共工事請負金額(10月)

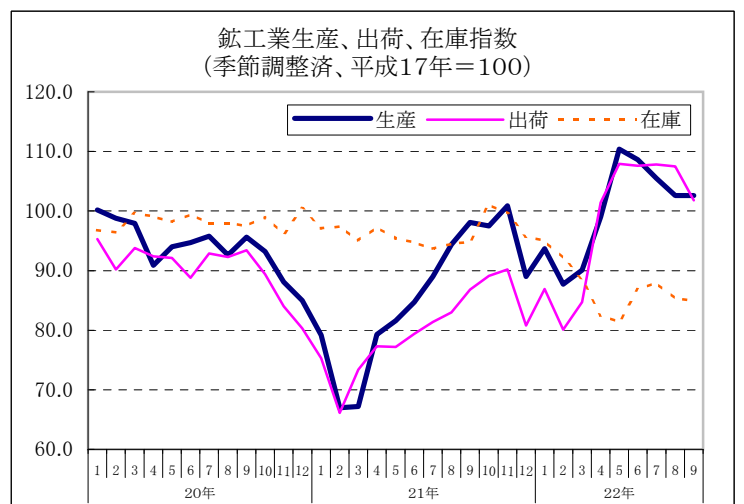
77億100万円(前年同月比25.4%減)と4か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比45.8%減)、県(前年同月比0.6%減)、市町村(前年同月比15.2%減)といずれの発注者でも前年を下回った。

○産業面の動き

鉱工業指数(9月)

生産指数(季節調整済)は102.6(前月と同水準)と横ばいとなり、原指数は102.0(前年同月比7.7%上昇)と14か月続いて上昇となった。

内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが5.1%低下となり2か月連続の低下、電子部品・デバイスが0.5%低下となり4か月連続の低下、電気機械が14.5%低下となり3か月ぶりの低下、一般機械が14.7%上昇となり6か月連続の上昇となった。在庫指数(季節調整済)は85.0と前月比0.4%低下した。



大口需要電力実績(9月)

131, 220kwh(前年同月比4.1%増)と4か月続いて前年を上回った。鉱工業用の大口需用電力は主要4区分全ての区分で前年を上回った。

青果物卸売量(10月、鳥取市場)

野菜が1,502t(前年同月比19.4%減)と10か月続いて前年を下回り、果実は829t(前年同月比23.1%減)と3か月続いて前年を下回った。

漁獲量(10月、境港)

20,627t(前年同月比21.3%増)と5か月ぶりに前年を上回った。

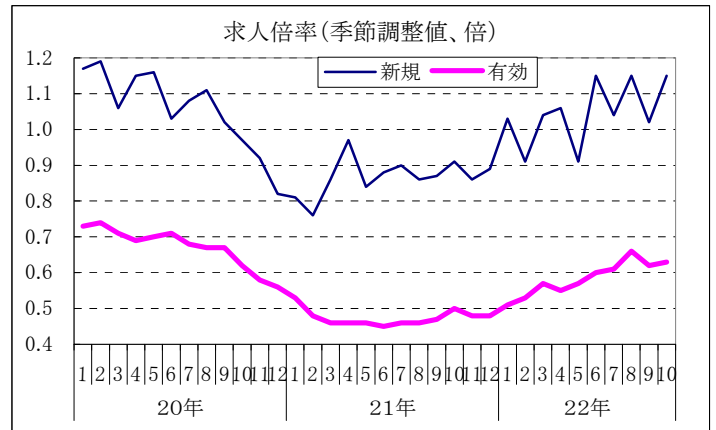
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(10月)

1.15倍(前月差0.13ポイント上昇、前年同月差0.24ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,892人(前年同月比4.3%増)と3か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(10月)

0.63倍(前月差0.01ポイント上昇、前年同月差0.13ポイント上昇)となっており、5か月続いて0.6倍台となった。



現金給与総額(9月)

244,921円(前年同月比0.5%増)と3か月続いて前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、241,594円(前年同月比0.4%減)で6か月ぶりに前年を下回った。

所定外労働時間(9月)

8.4時間(前年同月比9.1%増)と10か月続いて前年を上回った。主力の製造業は11.5%増となった。産業別の前年同月比では、卸売・小売業(前年同月比40.6%増)等で前年を上回り、電気・ガス・熱供給・水道業(前年同月比45.5%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(9月末)

預金残高は、1兆9,834億円(前年同月比2.6%増)と21か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,440億円(前年同月比1.1%増)と17か月続いて前年を上回った。

○参考

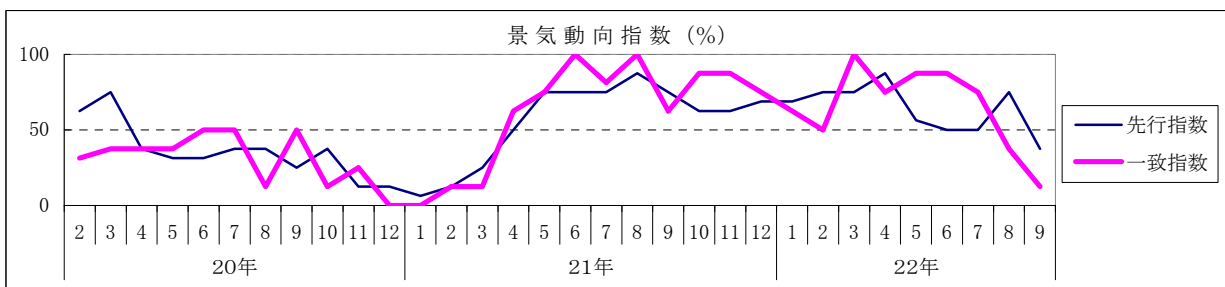
鳥取県景気動向指数(9月)

先行指数37.5%、一致指数12.5%、遅行指数33.3%となった。

先行指数は18か月ぶりに50%を下回った。

一致指数は2か月続いて50%を下回った。

遅行指数は5か月ぶりに50%を下回った。



企業倒産(10月)

件数は3件で前年に比べて2件減少(前年同月比40.0%減)となり、負債総額は7億100万円の前年に比べて1億4,500万円増加(前年同月比26.1%増)した。

消費者物価指数(10月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.2となり、前月と同水準、前年同月比(▲0.3%)は低下した。

鳥取県の推計人口(11月1日現在)

587,683人で、前月と比べて89人(0.02%)減少し、前年同月と比べて3,473人(0.59%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成22年11月調査)

平成22年10~12月期は、平成22年7~9月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや不調となっている。

平成23年1~3月期は、平成22年10~12月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもが不調となる見通しとなっている。